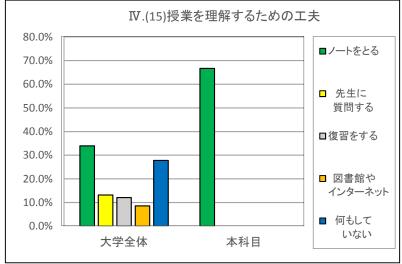


	設問No.	科目平均	全体平均
受力	I .(1)	3.33	3.39
主講 多	I .(2)	3.33	3.47
勢の	I .(3)	3.33	2.91
	Ⅱ.(4)	3.33	3.05
	Ⅱ.(5)		
受	Ⅱ.(6)	/	
講	Ⅱ.(7)	3.00	3.32
内 容	(8). Ⅱ	3.33	3.39
-	Ⅱ.(9)	3.00	3.27
方法	Ⅱ.(10)	3.67	3.28
/4	Ⅱ.(11)	3.00	3.09
	Ⅱ.(12)	3.00	3.43
	Ⅱ .(13)	3.67	3.43
満足度	Ⅱ.(14)	3.33	3.36

※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2, (あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に 質問する	復習をする	図書館や インターネット	何もして いない
Ⅳ.(15) 授業を理解するための工夫	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の 受講姿勢	3.33	3.26
I .(1)~(3)		
講義内容· 方法 Ⅱ.(4)~ (13)	3.25	3.28
総合的 満足度 皿.(14)	3.33	3.36

授業年度		度	2014年度 後期	
	時間割番号		番号	34304
	科	目	名	基礎数学Ⅱ
	教	員	名	

①授業計画の達成度について

本科目は数学検定3~5級に対応し、級ごとにそれぞれ1次:計算技能検定(計算問題)と2次:数理技能検定(文章問題)に分けられるところ、2次は後回しにして1次のみ5級から始めて3級の途中までしか終わらず、その意味では授業計画は達成できず、また、私のクラスからは一人も合格者が出ませんでした。

しかしながら、本科目は学力別にクラス分けがなされ、私が担当したクラスは学力が最下位層のところ、形式的にテキストを終わらせるのではなく、学生個々人の学力に応じて、現状から少しでも引き上げるという意味では、それなりの達成はあったものと考えられます。

## ②授業の進め方について

回答者数が3名であり、統計的に意味があるのか疑問がありますが、「この授業は、私語が少なかった」(科目平均3.67/全体平均3.28)及び「この授業の先生は授業時間を有効に使っているか」(科目平均3.67/全体平均3.43)の2項目の科目平均が全体平均を上回っていたことは、これらが特に学生に評価されていることを示しているのかも知れません。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本科目はいささか特殊であり、3年次前期まではその重要性に対する教育的配慮から登録必修科目であるものの、卒業要件にかかわる必修科目ではなく、数学に苦手意識を持っている学生は最初から出席しない傾向にあるようです。

そうしたなか、実際に授業に出席するのは基本的に4名のところ、 少なくとも彼らが授業に出席している時間帯についてはしっかり勉 強させることが出来たものと自負しております。引き続き、少しでも 何らかの形で学力向上に寄与できればと期待します。